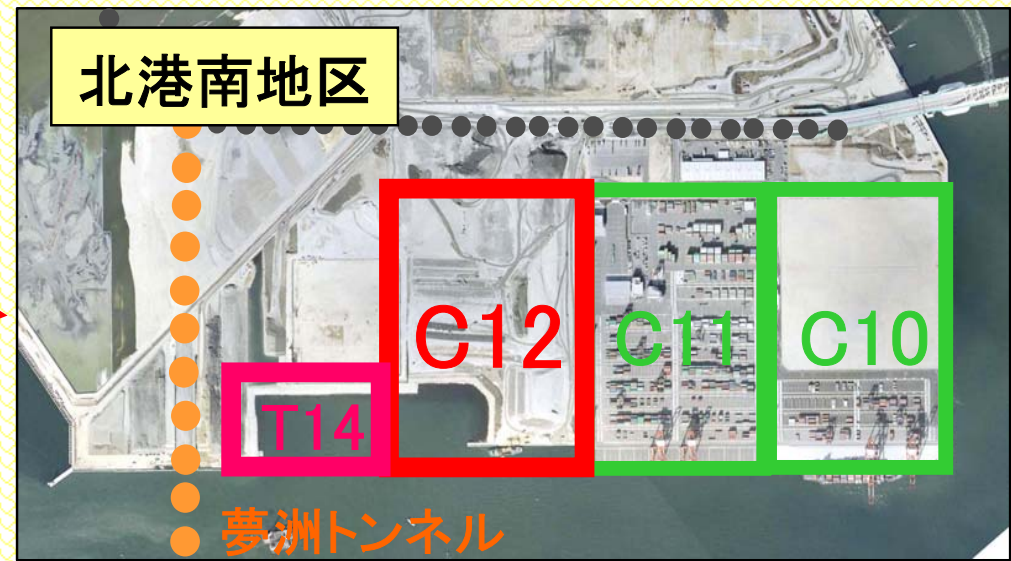


大阪港港湾計画 一部変更



大阪港港湾計画 背景

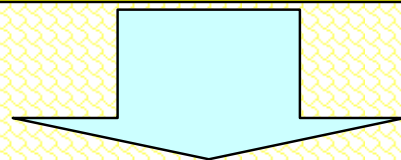


大阪港利用船社の新造計画

船社	TEU	満載喫水	必要岸壁水深	隻数	竣工年月
EVERGREEN	8,100	14.2	16m	8隻	05.8~06.6
	6,724			10隻	05.8~08.8
HANJIN	7,500	14.5	16m	5隻	05
	6,500			5隻	06.9~07.5

【背景】

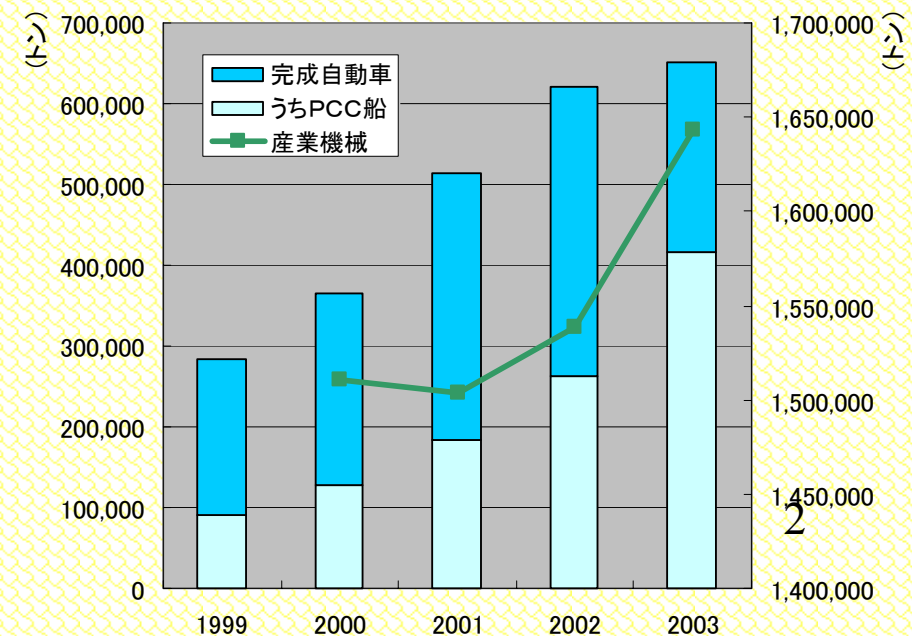
- コンテナ船の大型化
 - ・超大型船の計画、建造
- 水深12m岸壁の不足
 - ・在来貨物の堅調な伸び
 - ・喫水調整しての入港
- 耐震強化岸壁の不足



【対応】

- 夢洲の未着工バースの強化・適正化
- C12、T14岸壁水深・延長の変更
- 大規模地震対策施設計画の見直し

在来貨物の伸び(完成自動車・建機)



大阪港港湾計画 概要と効果(1)

公共ふ頭計画



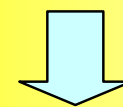
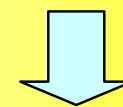
【計画概要】

- OC-12 岸壁水深・延長の変更
 水深 15m → 15~16m
 延長 350m → 400m
 航路・泊地：水深 15~16m
- OT-14 岸壁水深・延長の変更
 水深 14m → 12m
 延長 280m → 240m
 泊地：水深 12m

【効果】

高規格コンテナターミナルの整備

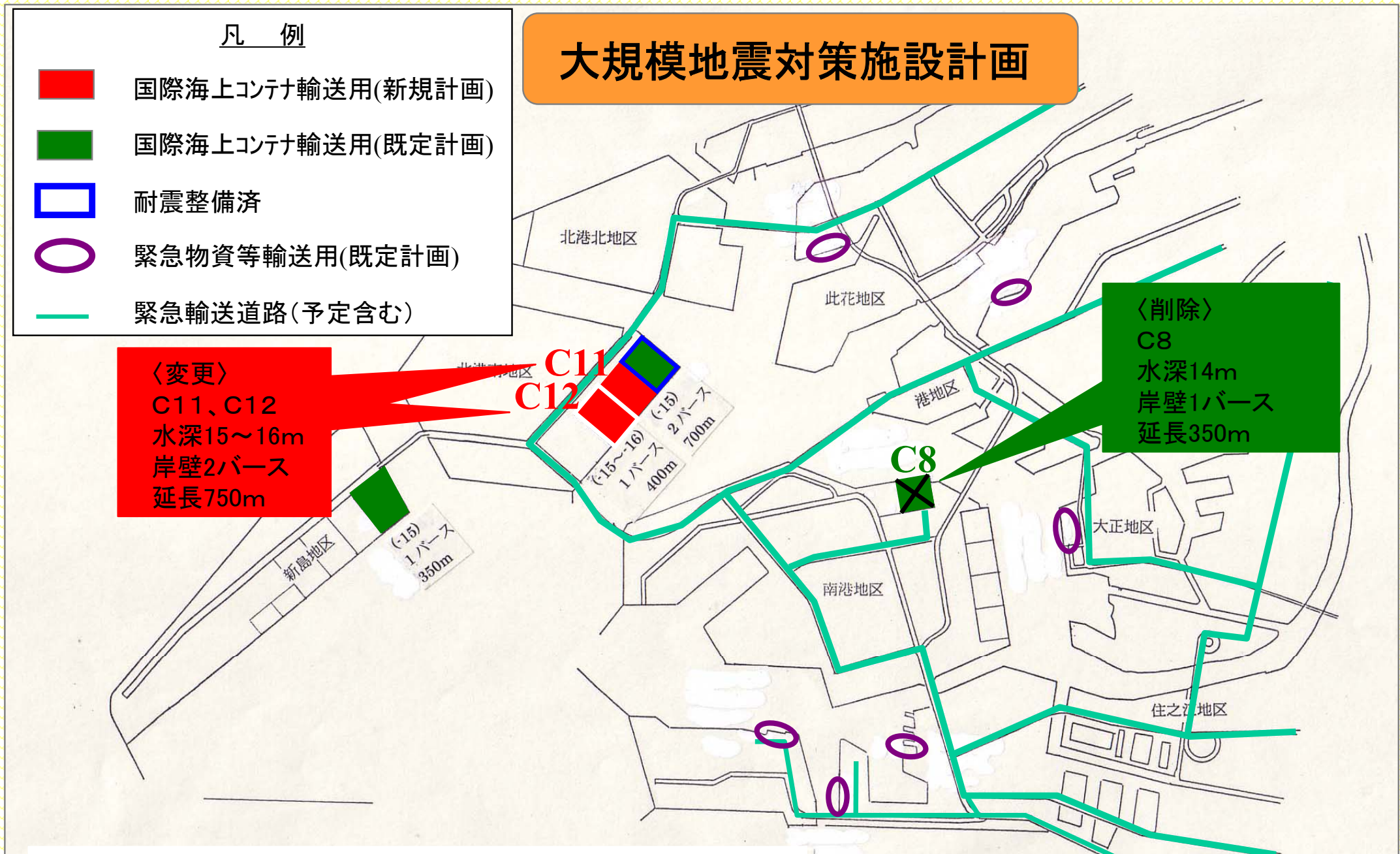
在来貨物の効率的な荷役



背後圏

- ・経済・産業活動の活性化
- ・市民生活の安定

大阪港港湾計画 概要と効果(2)



【計画概要】

- 耐震強化岸壁の配置の見直し
国際海上コンテナターミナルの3割を耐震化
- 新規計画：C-11(既設)、C-12

計画削除：C-8

【効果】

震災時においても
物流機能を維持